

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス ヒトツナ武里教室

公表日 2026年 3月 26日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		必要に応じて机等を配置し、通常はお子様及安全に過ごせるよう広い空間を保っております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		人員基準を守り配置をしております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		毎日消毒・清掃を行い換気もしつつ室内の清潔を心掛けています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7			更に全職員がより参画し易い体制・環境を整えます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		職員会議にて職員に周知し、改善すべき点などの見直しを行っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			意見の出しやすい環境を整え業務改善に努めてまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1		外部による第三者評価は、今後必要に応じて検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		月例研修・年2回のヒトツナ全体研修等、計画的に研修を行い質の向上に努めております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		児発管を中心にモニタリング会議を行い適切な計画作成に努めています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		児発管を中心にモニタリング会議を行い共通理解をはかっております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		アセスメントの質を向上させ、より支援の質を向上できるように努めてまいります。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		全職員からのアセスメントを基に、お子様の支援に必要な項目を選択し、具体的な内容を設定出来るように努めています。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		担当リーダーが立案し、計画を立てていますが、お子様の変化や現場の様子などを見ながら職員間での共有を図り、都度立て直しを図っています。	職員全体でプログラムの立案に努めてまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		活動決め会議をプログラムに組み込み、お子様の意見を取り入れたり、SNS配信などから新しい活動を見つけ出しております。	より一層、お子様が「楽しい」と満足して頂けるプログラム作成に努めます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1		送迎等不在の職員もいる為、時間差で全職員に共有出来るように努めてまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1		送迎等不在の職員もいる為、時間差で全職員に共有出来るように努めてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		hugにて支援の個別記録を徹底しております。それらを検証し次の支援につなげております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		支援計画の更新毎に見直し、必要に応じて計画修正を行っております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1		児発管の他、主にそのお子さまの支援に入る指導員が同席するなどの配慮をしていきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		地域の保健機関、医療機関、行政等との連携の強化に努めてまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			ヒトツナ以外の事業所や保育所・園との情報共有に努めてまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1		これまでご要望がありませんでしたが、情報提供をする体制は整っております。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		行政、地域の研修の把握に努め、参加する機会を設けてまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4		地域交流に向けての取り組みを引き続き検討してまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		今後は検討し、可能な限り参加してまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		日々の送迎のお伝えしたり、hugによるサービス記録にて伝達しております。必要に応じて個別に相談の時間も設けております。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1		家族支援の観点から、保護者様に参加していただける研修会の開催を検討してまいります。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に丁寧な説明に努めております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		定期的に面談を通して、お子様と保護者様の意向を計画書に記載しております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		支援計画内容を説明する面談を設け、同意を得ております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		ご家族様のお悩みに応じて、随時面談機会を設けております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1	昨年11月に保護者会を開催いたしました。	年1回の保護者会等の開催を検討し、継続して保護者様の交流を図れるようにしてまいります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		インスタ・hug通信・HPなどでの配信を行っております。毎月活動内容やイベントにつきましての活動カレンダーを配布しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報が記載された書類等外部に漏れよう保管・管理を徹底しております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		活動内容をホワイトボードに記載、視覚支援を行い切り替え時刻などにはアラームなどの伝達方法を活用しております。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3		地域の園、施設など交流をはかれるよう検討してまいります。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		研修・訓練を年間計画にしており実施しております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		BCPIに沿った研修・訓練を年間計画に組み入れ実施しております。避難場所・避難経路の確認・消火器の使い方等計画的に行っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		契約時の保護者様からの情報に基づき職員に周知しております。時期をおい保護者様に再確認をしております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		契約時の保護者様からの情報に基づき職員に周知しております。時期をおい保護者様に再確認をしております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全訓練・点検等を計画的に行っております。備品点検、室内点検等お子様が安全に過ごせるよう対策をしております。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		定期的に保護者様に取り組み内容についてご報告してまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1		ヒヤリ&ハットは必ず記録共有し、再発防止に向け迅速な対応策に役立てていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		研修を行うとともに委員会を設置し、お互いの姿勢を意識しております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		身体拘束適正化委員会を設けており、身体拘束の必要性などを検討しております。	必要に応じて保護者様に説明し、計画への記載を行ってまいります。	